

宮崎地本だより

希望に燃える新隊員が入隊 各地で入隊式開催

平成30年度本県出身者の若者251名が全国の各教育隊、防衛大学校等へ入隊、入校しました。

4月8日には都城駐屯地及びびえびの駐屯地において自衛官候補生の入隊式が行われ、入隊者は本年度から採用された新制服に身を包んで式に臨み、服務の宣誓を元気に読み上げ、これからの訓練や生活に対して希望に満ち溢れた表情で自衛官としての第一歩を踏み出しました。



元気に宣誓をおこなう新入隊者

日南地域事務所 飢肥へ移転

日南地域事務所は3月1日（木）、新事務所の移転開所式を崎田日南市長を初め多くの来賓に参加いただき盛大に開催しました。

開所に当たり、正面玄関には福田榮助氏から寄贈の飢肥杉に、外林義朗氏の揮毫による新看板が設置され日南地域事務所へと引き渡されました。

新事務所は宮崎南部森林管理署との合同庁舎化により移転し、旧事務所と同等の事務スペースが確保されるとともに、機能強化されています。

新事務所は、日南飢肥の城下町に立地し、1キロから2キロ圏内にはJR飢肥駅、高校2校が所在し募集広報に適した環境になっており所員は、「素晴らしい環境が整い、今後も全力で募集・広報業務に邁進したい」と気持ちを新たにしていました。



屋上での記念撮影



全員による勝どき



発行元
自衛隊
宮崎地方協力本部

編集
募集課広報班
宮崎県宮崎市東大淀
2丁目1-39



本部長によるだるまの目入れ

4月11日（水）宮崎地本本部において平成30年度出陣式を行いました。

式では本部長以下出張所長等が祈願だるまへの目入れ、各所長からの決意表明、本部長訓示があり、日向地域事務所長のかけ声により勝どきをあげ、本年度の募目標達成を誓いました。

その後、屋上で地本部長全員での記念撮影を行いました。

本年度も宮崎地方協力本部は一丸となり募集目標達成に向け募集広報に力を入れ頑張っていきます。

たまゆら

月日が経つのも早いもので、一昨年7月31日に本部長として着任し4月で1年8カ月が経過しました。

募集対象者が減少するとともに景気動向が向上き有効求人倍率が上昇するという極めて募集環境が厳しい中、平成29年度は251名の若者が自衛隊に入隊・入校することとなりました。

これはひとえに募集相談員会を始めとする防衛協力団体や宮崎所在の部隊の皆様方のご支援ご協力及びご家族の方々のご理解や学校の先生方のご指導、並びに現場の広報官の頑張りのおかげと存じます。

誠にありがとうございます。

2月から3月にかけて宮崎県内20の地域において自衛隊家族会や防衛協会主催で入隊・入校者激励会を実施して頂きました。激励会においては、当該地域の首長さんや校長先生、ご家族等にも参加して頂き、国歌斉唱、入隊・入校者の紹介及び抱負、防衛大臣と宮崎県知事のビデオによる激励の言葉、来賓祝辞、記念品贈呈、謝辞、万歳三唱など厳粛かつ盛大に開催して頂きました。

特に感銘を受けたのは、宮崎県知事をはじめ当該地域の首長さんが口をそろえて、「日頃の自衛隊の活動に対する感謝」「当該地域で自衛官を志した若者に対する敬意と誇り」「自衛官を志した若者たちに対し地域として最大限の支援と協力」の気持ちを表明されたことです。これらの気持ちやご家族の方々がご子弟を見守る姿、若者の輝く眼差しやご家族に対する感謝の気持ちなどを聞いて、自衛隊としては若者を大事に育て、一日でも早く立派な自衛官となるよう教育・訓練をしていかなければならないと強く思いました。宮崎地本としては若者の入隊・入校後もしっかりとフォローしていく所存です。

3月末には宮崎地本の隊員により入隊・入校者を空港や最寄りの駅などにおいて見送るとともに学校等に無事着隊させるための引率を実施しました。

4月に入って防府南基地、久留米駐屯地及び国分駐屯地における一般曹候補生などの入隊式に参加しましたが、着隊してわずか10日ばかりしか経過していませんが、着隊して入隊式における一かつ節度ある動作にも関わらず、入隊式における一かつ節度ある動作や力強い宣誓など見違えるような姿になっておりました。また、何名かの宮崎県出身の入隊者と話しましたが、「必ずやり遂げる」という決意と「親の有り難みを感じ改めて親に感謝」との言葉を聞いて自衛隊に入隊してもらって本当に良かったと思うと同時に、必ずや約3カ月間の厳しい訓練を無事に乗り切ってもらえと確信したところです。

彼らの成長を願うとともに今年度も新たな若者を入隊・入校してもらうための募集活動をしつかりと実施していきたいと思えます。

（本部長 1等空佐 植村 茂己）

宮崎から 希望を胸に全国へ!

3月20日より入隊予定者が担当部員やご家族の見送りを受けながら全国の教育隊や防衛大学校等へ向け元気に宮崎を出発していきました。

宮交シティでは入隊予定者が家族と別れを惜しみつつバスに乗込み、家族はその姿が見えなくなるまで見送る姿がありました。
また宮崎空港では、多数の家族や友人に見送られつつ明るく手を振りながら教育隊等へ旅立っていきました。



宮崎地方協力本部ホームページを リニューアルしました!

これからはギャラリー等
充実させていきますので
是非ご覧ください!



入隊入校予定者激励会

2月20日(火)より宮崎県内の各市町村において、防衛協会支部主催による自衛隊入隊予定者激励会が実施されました。

激励会では協力団体等の来賓、入隊予定者家族の見守る中執り行われ、支部長や市町村の家族会会長より激励の言葉が贈られました。
また、防衛大臣及び宮崎県知事からの激励メッセージが紹介されると入隊予定者は任務の重要性和国民の期待の高さを実感し、新たな決意を固めた様子でした。
式の最後には入隊予定者と家族を交えた記念撮影が行われ厳粛な中にも和やかな雰囲気での激励を閉会しました。



予備自衛官召集訓練及び 就職援護広報を実施しました

3月9日(金)、日出生台演習場(大分県)にて実施された第24普通科連隊(えびの)による即応予備自衛官召集訓練を雇用主様に見学して頂きました。

当日の演習場はあいにくの強い風雪であったため、一部の訓練が一時中止となりましたが、氷点下となった演習場での即応予備自衛官の訓練、火力装備の迫力を間近で感じる事ができました。

見学終了後には湯布院駐屯地での体験喫食に引き続き、西部方面総監部予備自衛官



日出生台にて訓練を見学

班の企画による雇用主様との意見交換会が実施されました。
多くの貴重なご意見を今後の予備自衛官等制度の更なる発展のために反映させて頂きま

宮崎地本創立63周年記念式典 祝賀会を開催しました!

1月13日(土)、宮崎市MRTミミックにおいて「宮崎地方協力本部創立63周年記念式典」を実施しました。

式典においては本部長による訓示、記念撮影のあと、別会場にて祝賀会が宮崎県防衛協会会長である、河野宮崎県知事をはじめ多数の来賓にご参加いただき盛大に開催されました。
河野知事は来賓祝辞のなかで県としても自

延岡花物語・このはなウオーク において広報を行いました

延岡出張所は2月24日、25日、延岡花物語・このはなウオーク2018において、広報を実施しました。

会場において、第9施設群が訓練で設置した両岸をつないでいる架柱橋を来場者に行き来してもらおうように解放していました。

会場では宮崎地本のマスコットの3人が来場者への写真撮影に応じたりと大変な盛況ぶりでした。



河野知事とともに記念撮影

マモル君が会場を歩いている間には河野宮崎県知事とその場を訪れ、マモル君と二人で写真撮影を行いました。「知事と記念撮影でき感謝です。」とマモル君は喜んでいました。

衛隊に協力し、また退職自衛官への再就職に對して、生まれた川(宮崎県)から大海原(自衛隊)に出て人として成長して再び生まれ上り作戦」と銘打っていただき自衛官募集への協力を示されました。
来賓の皆様を祝辞を多数賜り、宮崎地方協力本部一同これからも募集目標達成、就職援護、予備自衛官訓練、募集広報等皆様のお力をお借りしながら、各目標に向け頑張りたいと思います。
ご来場いただいた皆様にご感謝とお礼を申し上げます。



祝辞を述べる河野知事

援護協力会員企業 300社達成!

2月23日、都城市のホテル中山荘において都城地区退職自衛官就職援護協力会会員企業300社達成祝賀報告会が行われました。

会には、都城市長、宮崎県議会議長、宮崎県議会議員、都城市議会議員、陸・海・空の駐屯地・基地司令等をはじめ、行政機関・自衛隊協力団体関係者、協力会員等約130名が出席され、盛大に目標達成を祝いました。

石原会長の目標達成報告のあと、来賓祝辞・鏡割り・乾杯と続き、祝賀会は、終始和やかな雰囲気の中で進行し、陸上幕僚監部の持田1佐の万歳三唱により盛会のうちに終了しました。

同会は退職自衛官の雇用に対する協力を目的として設立され、現在303社の企業が入会されており、地区としては日本一の会員数です。



みやざき春フェアに参加

3月27日(火)、シーガイアコンベンションセンターで行われた「2018みやざき春フェア」県内企業の情報満開に宮崎募集案内所長以下6名で自衛隊ブースを開設し来場者に対し自衛隊の概要説明及び募集広報を実施しました。

このフェアは、宮崎労働局が主催により県内の企業及び市町村がブースを開設するとともに、社会人1年生等による「就職体験談」「就活に向けてのセミナー」及び企業による「企業アピールタイム」が実施されました。フェアには、県内外から417名の来場があり、自衛隊ブースでは12名に対し募集広報等の説明を実施しました。

京町二日市にて募集広報

小林地域事務所は2月3日及び4日、えびの市京町温泉駅前中心部において行われた京町二日市に、えびの駐屯地広報とともに参加して募集広報活動を実施しました。毎年約10万人の人出で賑わい九州最大の買い物市として知られる会場において、陸・海・空自衛隊に興味がある方々が足を止めて自衛隊パンフレット等に興味を示し中には「私は防衛大学の受験を考えています。」との高校生が訪れ、広報官により防衛大学の概略の説明を行い、目を輝かせ真剣に話を聞いていました。



また、来場者の中には「これから勤務を頑張ってください。」と激励の言葉をかけてくださる方もいました。2日間で多くの方に自衛隊のことをアピールすることができ有意義な広報となりました。

ボランティアフェスティバル

3月11日(日)都城地域事務所は、宮崎県都城市にある霧島ファクトリーガーデン内において、都城市社会福祉協議会が主催する「みやこんじょボランティアフェスティバル2018」に参加しました。

当日は、新燃岳の降灰の影響もあつたものの天候に恵まれ多くの家族連れで賑わいました。フェスティバルには、主催者側として、多数の中学生・高校生もボランティアとして

都農高校での進路ガイダンスに参加しました

3月16日(金)、都農高校体育館において「株式会社さんぼう」主催の進路ガイダンスが都農高校学生(1,2年生)約150名を対象に実施され会場には30余りの企業や学校が集まり、参加団体それぞれが工夫を凝らし説明を行いました。新田原分駐所もブースを提供していただき集まった14名の学生に対して「陸海空自衛隊の特色や仕事について」「入隊のための試験について」などの説明「パンフレットには書かれていない自衛隊の説明」を行いました。説明を聞きに来た学生に記入してもらったアンケートには「自衛隊に興味をもちました。」「自衛隊の様々なイベントにも積極的に参加したい。」という回答も得られ、今年度以降の募集業務の糧となる有意義な進路ガイダンスとなりました。



て参加しており、参加学生に対して広く自衛隊をアピールすることができました。



また、今回は車両展示区画に募集広報ブースを設置することができ、軽装甲機動車(43普通本管中隊)、警察車両(パトカー、白バイ)の間ということもあり多数の家族連れで賑わい、自衛隊車両の迫力や頑丈さに驚いた様子でした。

オール日向祭へ参加

日向地域事務所は2月25日(日)、日向市文化センターで実施された民生事業「オール日向祭」に所長中尾1尉以下3名で参加しました。

会場では車両1両と陸海空装備品パネル及び携行食を展示するとともに、来場者に自衛隊の活動等を紹介するとともに、自衛官候補生の募集広報を実施しました。

当日は、朝から雨模様でしたが、多くの市民が来場して自衛隊ブースのほか、富島高校や宮崎県立農業大学のブースを訪れていました。

自衛隊ブースでは、家族連れが展示車両に乗車して写真撮影をしたり、学生が興味深く装備品パネルや携行食を手にとって見ていたので、広報官は親切丁寧に説明を実施して募集広報を行いました。



細島港にて本年度最後の艦艇広報を実施しました

3月2日(金)より4日(日)、日向市小倉ヶ浜において、29年度最後の海上自衛隊第1輸送隊(LCAC)の揚陸訓練が実施されました。



2日の訓練では、近隣の財光寺南小学校が遠足に浜に訪れており生徒に対して海上自衛隊の訓練を見てもらう絶好の機会となりました。

か、細島港に入港しました。

翌3日は午後から雨天となりましたが「おおすすめ」の艦艇広報を行い、伊勢ヶ浜保育園の園児や多数の来場者で賑わいました。特に搭載されたLCACに興味を持つ来場者に対し乗員が親切に説明を行っていました。



地本ブースにおいては、マスコット「みらいちゃん」が来場者を出迎えて制服を試着した地元小学生たちと記念撮影を行っていました。そして4日、多数の市民から見送られ別れを惜しむかのように汽笛を吹鳴し輸送艦は出港していきました。宮崎地本は30年度も積極的に艦艇広報を行っています。皆様のご来場をお待ちしています。

人事往来

【転出者】

西部方面総監部へ
3等陸佐 下村 隆一
(小林地域事務所長)

第1後方支援連隊へ
1等陸尉 野崎 誠
(募集課)

第5航空団へ
1等空曹 新竹 淳一
(新田原分駐所)

第15後方支援隊へ
1等陸曹 藤巻 郁美
(総務課)

第1輸送航空隊へ
1等空尉 酒井 修一郎
(新田原分駐所長)

善通寺業務隊厚生科長へ
行(一) 5
齋 博文
(総務課長)

愛媛地本へ
行(一) 4
高橋 博樹
(会計班長)

関東補給処へ
行(一) 4
廣谷 享典
(広報班長)

【転入者】

西部方面総監部総務部へ
行(一) 2
吉原 美貴
(募集課)

募集課 審査専門官
海曹長 久保 正樹
(第5護衛隊)

以上2月19日付
都城援護センター長
3等陸佐 酒井 好春
(第43普通科連隊)

募集課 募集班長
3等陸佐 大原 幹弘
(西部方面総監部装備部)

小林地域事務所長
1等陸尉 中村 周一
(第11飛行隊)

【臨時勤務者】

えびの援護センター
1等陸曹 末永 秀和
(西部方面特科連隊)

【部内移動者】
日向地域事務所へ
陸曹長 小土手 博美
(宮崎募集案内所)

新田原分駐所へ
空曹長 小野 啓一
(宮崎募集案内所)

以上3月25日付
総務課 企画係長
行(一) 2
秋吉 正輝
(長崎地本)

新田原分駐所長
3等空佐 田口 稔
(空幕防衛部)

総務課 管理班長補佐
准陸尉 長友 久
(防衛大学校)

えびの援護センター
2等陸曹 佐藤 世一
(8特3大隊)

総務課 庶務係
2等陸曹 黒木 祐臣
(中央管制気象隊)

おめでとーございませう！

こんにちは赤ちゃん

募集課 審査専門官 相原麻衣子事務官に第一子が誕生いたしました。母子ともに健康ということですので。

【転入者】

新田原分駐所
2等空曹 越智 大介
(第5航空団)

以上3月25日付
総務課長
行(一) 5
吉川 徹哉
(高知地本)

総務課 会計班長
行(一) 4
池田 潤一郎
(航空学校)

募集課 広報班長
行(一) 4
小関 文生
(西部方面総監部人事部)

新田原分駐所長
3等空佐 田口 稔
(空幕防衛部)

総務課 管理班長補佐
准陸尉 長友 久
(防衛大学校)

えびの援護センター
2等陸曹 佐藤 世一
(8特3大隊)

総務課 庶務係
2等陸曹 黒木 祐臣
(中央管制気象隊)

【転入者】

新田原分駐所
2等空曹 越智 大介
(第5航空団)

以上3月25日付
総務課長
行(一) 5
吉川 徹哉
(高知地本)

総務課 会計班長
行(一) 4
池田 潤一郎
(航空学校)

募集課 広報班長
行(一) 4
小関 文生
(西部方面総監部人事部)

新田原分駐所長
3等空佐 田口 稔
(空幕防衛部)

総務課 管理班長補佐
准陸尉 長友 久
(防衛大学校)

えびの援護センター
2等陸曹 佐藤 世一
(8特3大隊)

総務課 庶務係
2等陸曹 黒木 祐臣
(中央管制気象隊)

【転入者】

新田原分駐所
2等空曹 越智 大介
(第5航空団)

以上3月25日付
総務課長
行(一) 5
吉川 徹哉
(高知地本)

総務課 会計班長
行(一) 4
池田 潤一郎
(航空学校)

募集課 広報班長
行(一) 4
小関 文生
(西部方面総監部人事部)

新田原分駐所長
3等空佐 田口 稔
(空幕防衛部)

総務課 管理班長補佐
准陸尉 長友 久
(防衛大学校)

えびの援護センター
2等陸曹 佐藤 世一
(8特3大隊)

総務課 庶務係
2等陸曹 黒木 祐臣
(中央管制気象隊)

定年退官 おめでとーございませう

2月17日付 援護課 予備自衛官係
2月19日付 延岡出張所 准陸尉 甲斐 啓一郎



長年にわたる自衛隊勤務 本当にお疲れさまでした。健康に留意され、ご活躍されますことを祈念いたします。